



アントン・ロマーエフ さく  
ふじわら じゅんこ やく

# かいぞくのかもりうた








ゆうやけに たらされた ちいさな いりえに、  
あらしのような おとが ひびきます。  
どたん、ばたん、どんがらがっしゃーん!

いったい なにが おこったんでしょう？  
かざんの ふんかでしょうか？  
うみどりたちの おまつりでしょうか？  
それとも、なみしぶきを あびながら  
アシカと クジラが  
けんかでも はじめたのでしょうか？





いえいえ！  
はんにんは じつは ちいさな おとこのこ。  
かいぞくせんの せんちょうの むすこが、  
ちよっぴり ふざけて さわいでいる だけなんです。  
びりびりに やぶれた シャツを きて、  
まっくろけの かおで  
ボール みたいに ぴんぴん はねています。  
そろそろ ねんねの じかんですが、  
ねむるきなんて ゼーんぜん ありません。

ぶんぶん かたなを ふりまわし、  
きたない ことばを わめきながら、  
ながい ふねの うえを  
ノラネコみたいに はしりまわっています。  
そんな おとこのこに、  
くろい はたの ガイコツが  
にこにこと ほほえんでいます。





さわぎを ききつけて、  
ババかいぞくが  
できました。  
うみの おうさまみたいな  
こわい かおで いいます。

「まったく、なんて さわぎだ！  
おまえは ほんとうに、  
たいふうみたいな やつだな。  
おまえに ひきずりまわされて、  
おさは くたくたじゃないか。  
さあ、おもちゃを かたづけろ。  
かたなも たいほうも てっぽうも。  
ミルクが あったまったぞ。  
さっさと メシを くて、  
おはなしを きいて、  
ねてしまえ！」





ゆうやけに たらされた マストの わきで、  
おとこのこは パパかいぞくに つかまりました。  
ラバみたいに じたばたしてみたけれど、  
パパの てからは にげられません。

しゃがれごえで パパかいぞくが  
こもりうたを うたいはじめます。  
なみに ゆれる ふねは、  
まるで おおきな ゆりかごです。